

## メーデー宣言（案）

私たちは本日、第 89 回桑員地区メーデーを開催した。

メーデーは、米国の労働者が 1 日 8 時間労働を求めてゼネストに立ち上がったことを起源としている。世界の働く仲間がこの日に集い働く者の権利を求め、団結と連帯を誓いあった。改めて、性別や世代、産業や雇用形態などの違いを乗り越え、すべての働く仲間や生活者、労働組合、関係団体、NPO・NGOなどが連帯することの大切さを認識し、次の時代に引き継いでいこう。

東日本大震災の発生から 7 年、熊本県を中心とした九州地震から 2 年が経過した。今なお多くの人たちが、不自由な生活を強いられている。また、被災地では子どもたちの心のケア、高齢者の孤立死、若年層を中心とした人口流出など、様々な課題が山積している。震災を風化させず、被災者に寄り添い、防災・減災の取り組みとあわせて、被災地の復興・創生に向けた継続的かつ幅広い運動を展開していく。

日本社会は、未だ長時間労働や後を絶たない過労死・過労自死、雇用形態や性別などの違いによる格差問題などが深刻化している。春季生活闘争における「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組みを社会全体に波及させるとともに、安心と信頼の社会保障制度の確立をめざしていく。真に働く者のための「働き方改革」を実現し、誰もが健やかで安心して働き続けられる社会を今こそ創ろう。

世界では、貧富の格差拡大に加え、保護主義の台頭や排他的ナショナリズムによる社会構造の分断など、各方面での緊張感が高まっている。世界の恒久平和に向けた運動を強化するとともに、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成のために、政府や経営者団体、国際労働組合総連合（ITUC）などと連携し、すべての人が平和と人権を守り、豊かさを享受できる世界をめざしていく。

戦後世界を支えてきた自由や民主主義という規範が揺らぐ中、わが国においては、その根幹に関わるような出来事が続いている。この危機を乗り越え、健全な民主主義を取り戻すために、先頭に立って努力することを誓いあおう。

私たちはメーデーの起源を心に刻み、すべての仲間の連帯で、「ディーセント・ワーク」の実現に向けて、全力を挙げて取り組むことをここに宣言する。

2018 年 4 月 26 日

第 89 回桑員地区メーデー